

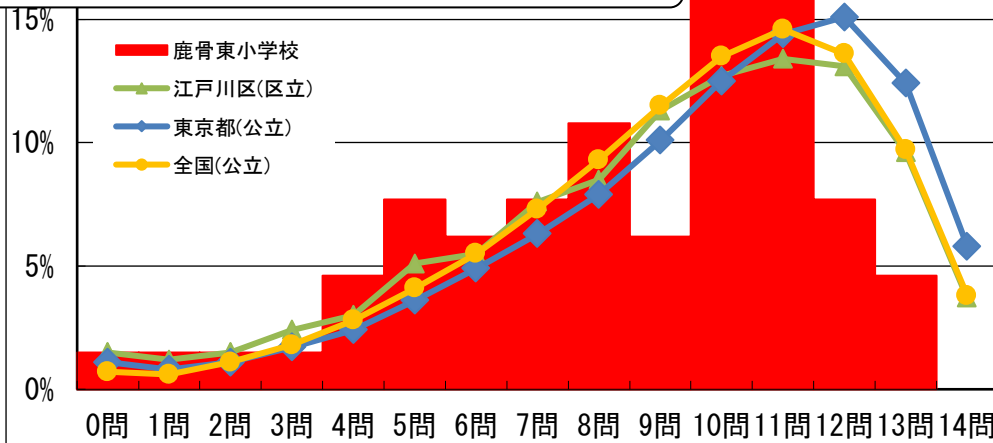
令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 鹿骨東小学校

正答数分布

平均正答数

鹿骨東小学校: 8.2問
東京都(公立): 9.7問

江戸川区(区立): 9.1問
全国(公立): 9.4問



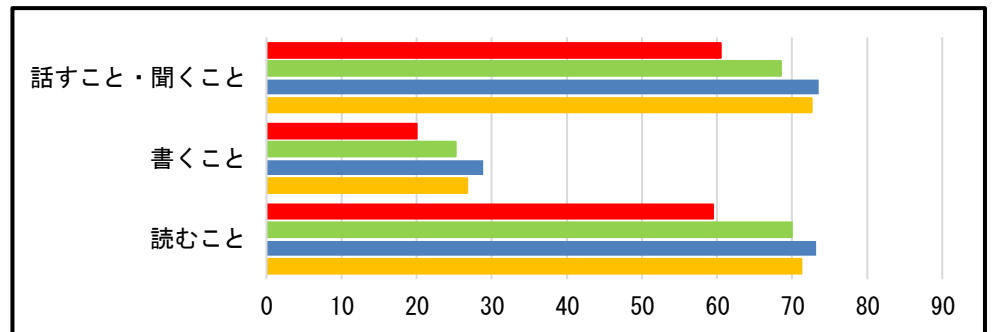
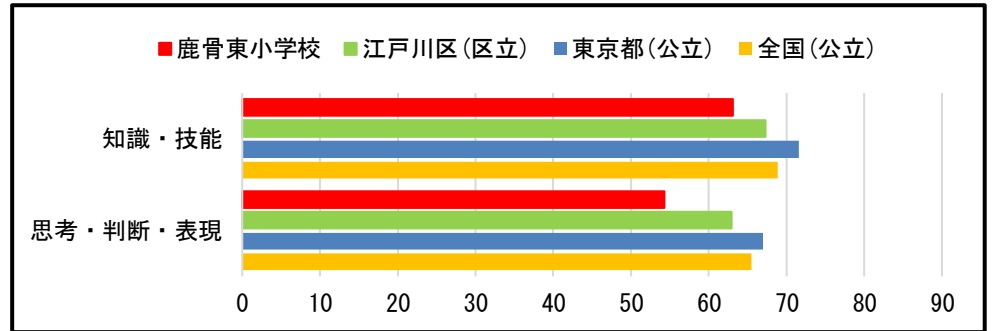
<四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

国語	A層 12~14問	B層 10~11問	C層 8~9問	D層 0~7問
鹿骨東小学校	12.3	35.4	17.0	35.3
江戸川区(区立)	26.4	26.1	19.8	27.7
東京都(公立)	33.3	26.9	18.0	21.8
全国(公立)	27.1	28.1	20.8	24.0

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

鹿骨東小学校	59%
江戸川区(区立)	65%
東京都(公立)	69%
全国(公立)	67.2%
都との差	10ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

江戸川区と比べ、B層とD層が多く、A層が少ない。C・D層の割合が52.3%になり、昨年度の55.3%より減った。各問題の正答率を全国と比べたところ、分かったことをまとめて書く問題が20ポイント以上下回っており、無答率が高かった。

普段の授業から、分かったことを自分でまとめる活動を意識して行い、書いて表現する経験を積ませるようにする。